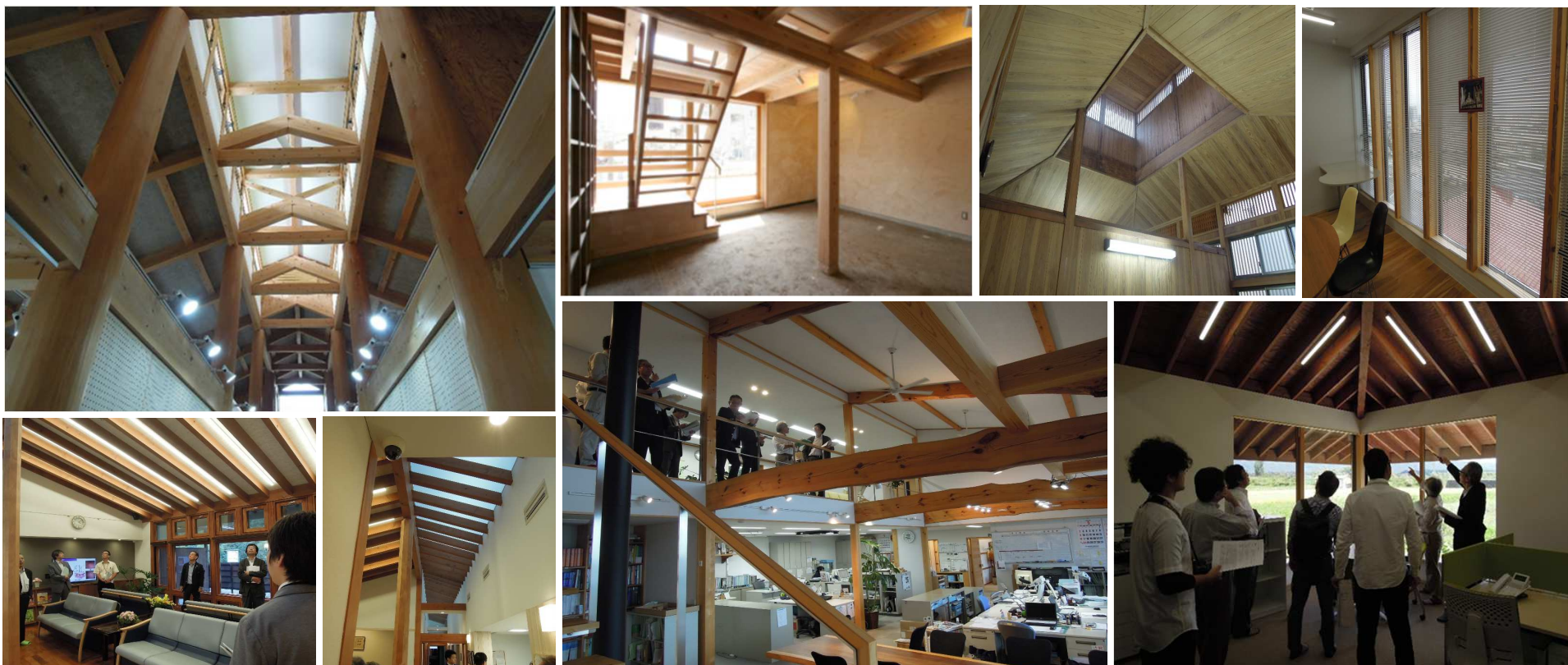


平成30年度

“信州の木”建築賞

今年度は500m²未満の小規模建築物



平成30年度“信州の木”建築賞審査委員会 審査講評

“信州の木”建築賞は、単なる木造建築のカタログ集にとどまらず、木造化、木質化のお手本となるような建築物を選定するため、平成28年度に創設した。

平成28年度は新築の中大規模の木造建築物を表彰対象とし、昨年度は、古民家等の信州に根付いた木造建築物をリノベーションして活用している作品を対象とした。

今年度は、平成28年度の中大規模の建築物より比較的規模が小さく、建築基準法上、いわゆる四号建築物となる「500㎡未満」の木造等の建築物に限定し募集した。

選定の視点は「木造建築物の発展や保存への寄与」、「構造性能、耐火性能向上等に創意工夫」、「デザイン・まちなみや周辺の景観との調和」、「環境負荷の低減・省エネルギー化への取組」、「県産木材の積極的な活用や木造建築の模範となるもの」の5点であり、これらを評価対象とした。なお、これらの評価項目すべてについて、確実な配慮がされていることが応募の条件ではなく幅広く作品を募集した。

公共施設の応募が多かった平成28年度に比べ、事務所・店舗や寺社仏閣、診療所や温泉施設など、地域コミュニティを支える民間施設の応募が多く、22作品の応募があった。

第一次審査は、まず、応募資料をもとに1作品ずつ審査委員が講評し、意見交換した。審査委員は意匠、構造、材料など様々な職種、専門分野から構成されている。そこで、それぞれの専門分野の視点から作品を評価し、その情報を審査委員全員で共有した。これらの意見交換の後に、投票を実施し7作品となった。

第二次審査は、審査員が現地において建物の調査と設計者等からヒアリングを行ったのちに、第一次審査と同様に審査委員が意見を交換し、投票により最優秀作品を1点、優秀作品1点をそれぞれ決定した。今年度の応募に際して優秀賞は2～3点としていたが、議論の末、1点のみの選出となった。

最優秀作品は、先の大戦における悲しい出来事を後世に伝えるために建設された博物館である。光を遮断することが多い博物館の中で積極的に光を取り入れながら、丸柱等を用いて展示空間を創出している。光を取り入れる越屋根は構造的な弱点となるような場合もあるが、構造面においてもきめ細かく配慮がなされるなど、全体的に隙のない建築物につくりあげられている。

優秀作品は、地域の診療所として建設されたものである。木曾谷の美しい川と山の景観に調和するように低層で計画され、地域特有の伝統的な屋根の色使いを採用し、立地条件や用途に配慮して視線の計画なども念入りになされ、地域に溶け込み、地域住民の暮らしを支える建築物となっている。

前述のとおり当建築賞は、「お手本」となる建築物を選ぶことである。今回の対象は前述したとおり、四号建築物であり、確認申請の際に構造図や計算書などを求められることはない。しかし「お手本」に「あいまいさ」があることは避けなければならない。判断に悩む部分もあったが、意匠のみならず構造的な面からも法令以上にきめ細かい配慮がされているような案を優位に、「あいまいさ」のあるものは選び難い、という結果となった。

また、先進的な建築物は今後、木材の利用、木造建築物の普及を図っていくうえで、広く周知が望まれるものであり、当建築賞の趣旨にも合致するものと思われる。しかし、今回の応募作品では、いまだ「プロトタイプ」という域を脱し切れず、選外となったのは残念であった。今後、「お手本」となる新技術等の応募があることをぜひとも期待したい。

一方で、対象内の小規模の木造建築物には、法令や技術といったハード的な側面の優劣とは別に、地域の文化や生活に密着し、「信州の木の建築」としてふさわしいものがある。例えば、温泉施設、社寺などはその一例である。当建築賞の評価軸や「お手本」という観点からは選びにくいものであったが、これらが文化や生活ばかりではなく、信州の風景、木の建築の景観なども構成している。審査段階では、この種の建築物と本賞のあり方について慎重に議論がなされ、今回の結果を踏まえ、今後の賞にこの種の対象を含むよう配慮すべき、と合意したことを最後に申し添えることとしたい。

日常業務でお忙しい中、応募いただいた各位に感謝の意を表したい。

平成30年11月16日

審査委員長 京都大学生存圏研究所 教授 五十田 博

平成30年度“信州の木”建築賞の概要

- 【規模】 延べ面積500㎡未満の建築物
- 【構造】 ① 木造建築物(主要構造部である柱、梁及び桁等の全てに木材を利用したもの)
 ② 木質化等を図った木造以外の構造の建築物(主要構造部以外の仕上材等に木材を多用したもの)
 ③ 木造と木造以外の混構造の建築物(主要構造部である柱・梁及び桁等に木材を多用したもの)
- 【用途】 店舗、事務所、地区公民館、診療所等、広く県民の方々が利用する施設
 (住宅は対象外。延べ面積の過半以上が非住宅の併用住宅は対象)

【建築時期】

- イ. 平成22年6月1日から平成30年5月31日の間に新築工事が竣工した上記 ①～③の構造の建築物
- ロ. 昭和56年以降(新耐震)に建築された上記①～③の構造の建築物(昭和20年から55年(旧耐震)に建築された建築物のうち、耐震改修工事等を実施済みのものを含む)で、平成元年から30年5月31日までにリフォーム・リノベーション工事を実施したもの

【審査】

- 地域の事業者や技能者が主体となり、木造建築物の発展・保存に寄与しているもの。
- 新築時及び改修時に木造建築物の構造性能、防耐火性能向上等に創意工夫を凝らしたもの。
- デザインに優れ、地域の文化や風土、まちなみや周辺の景観と調和がとれているもの。
- 環境負荷の低減に配慮・省エネルギー化への取組や提案がなされているもの。
- その他、県産木材を積極的に活用するなど、その特徴や良さが長野県における木造建築物としての模範となるようなもの。

《上記の項目などを評価対象とし、総合的に審査を実施》

応募作品リスト

受付番号	作品の概要				
	建物名称	所在市町村	用途	階数	延べ面積
No.01	長野トヨタ チューカーボックス佐久店	佐久市	中古車販売店	1	116.00㎡
No.02	MON marushime(モンマルシメ)	上水内郡飯綱町	飲食店	2	64.37㎡
No.03	パノラマオフィス伊那	伊那市	事務所(シェアオフィス)	1	119.25㎡
No.04	医療法人 奥原医院 【優秀賞】	木曾郡木祖村	診療所	1	340.25㎡
No.05	寺島工務店新社屋	長野市	事務所	2 B1	489.08㎡
No.06	GalleryCafeならの木	北佐久郡御代田町	喫茶店併用住宅	2	226.84㎡
No.07	満蒙開拓平和記念館 【最優秀賞】	下伊那郡阿智村	博物館	2	482.78㎡
No.08	りんご並木のエコハウス	飯田市	住まいの展示施設(環境共生の暮らし)	2	188.57㎡
No.09	(信州まし野ワイン株)ピオニエ蒸溜、醸造所	下伊那郡松川町	食品工場	1	327.10㎡
No.10	麻釜温泉公園「ふるさとの湯」	下高井郡野沢温泉村	公衆浴場	1	261.54㎡
No.11	熊の手洗湯	下高井郡野沢温泉村	共同浴場	1	32.90㎡
No.12	日々是好日(ヒビコレコウジツ)	松本市	飲食店	1	94.40㎡
No.13	エム・グループ本社ビル	長野市	事務所/物品販売業を営む店舗	4	397.41㎡
No.14	定津院 会館・坐禅堂	東御市	寺院(会館・坐禅堂)	2	445.66㎡
No.15	徳満寺 本堂・門徒会館・庫裏	上水内郡飯綱町	寺院(本堂・会館・庫裏)	1	486.64㎡
No.16	穂高神社 神楽殿	安曇野市	神社	1	35.13㎡
No.17	頼岳寺禅堂	茅野市	寺院	1	365.37㎡
No.18	善光寺山門東公衆トイレ	長野市	公衆トイレ	1	70.79㎡
No.19	姨捨の棚田 OASIS(オアシス)	千曲市	多用途交流施設	2	91.92㎡
No.20	白馬ハイランドホテル 浴室棟	北安曇郡白馬村	ホテルの浴室棟	2	466.19㎡
No.21	豊丘地域公民館	須坂市	地域公民館	1	437.55㎡
No.22	栄村歴史文化館 栄村公民館「こらっせ」	下水内郡栄村	博物館	2	397.48㎡

※ 着色の作品は二次審査対象作品

最優秀賞

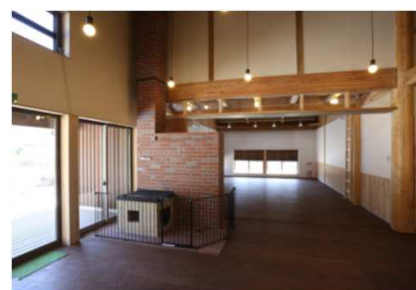
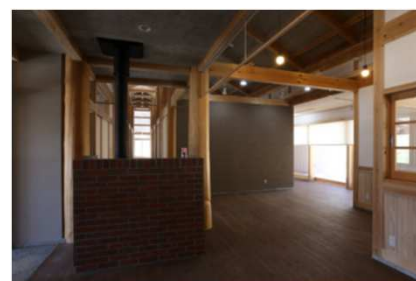
満蒙開拓平和記念館

下伊那郡阿智村

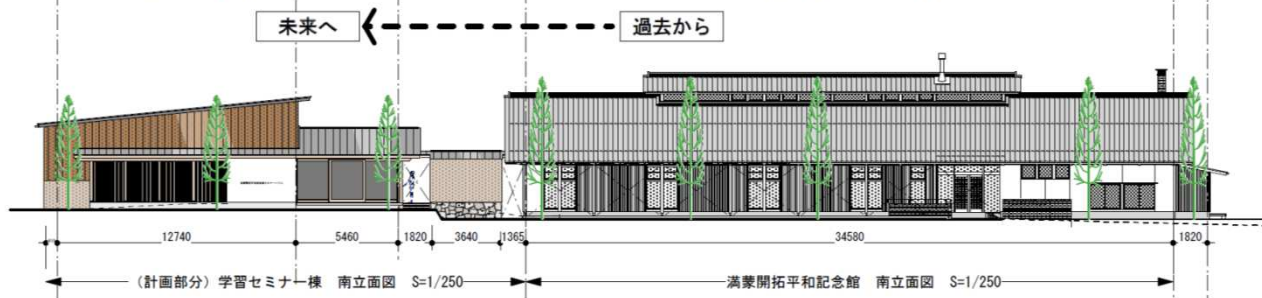
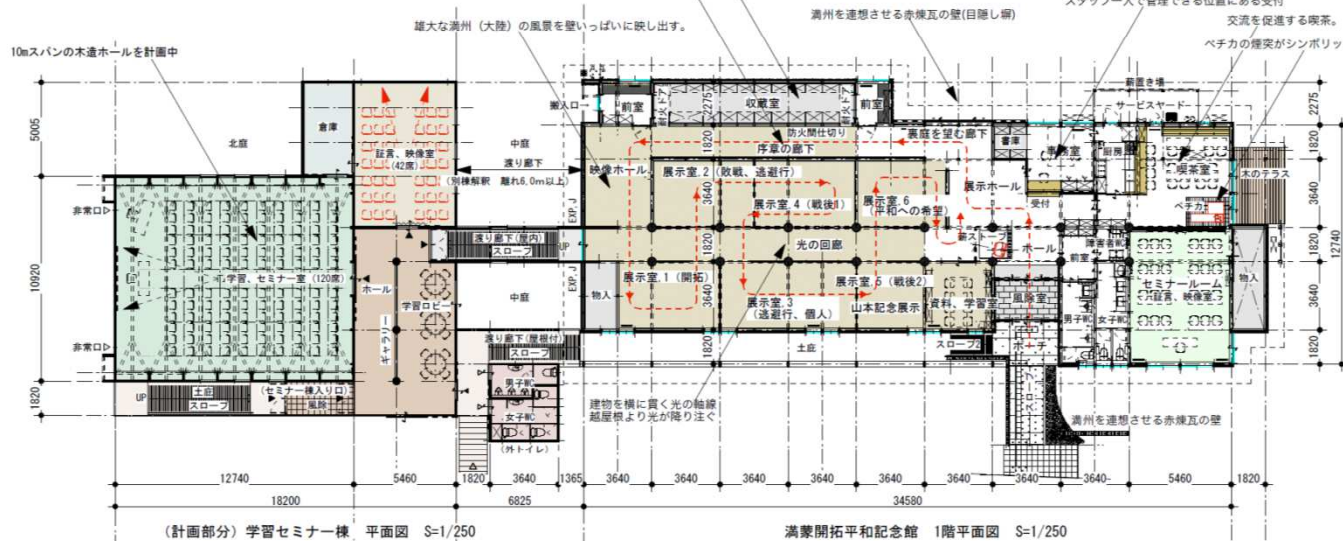
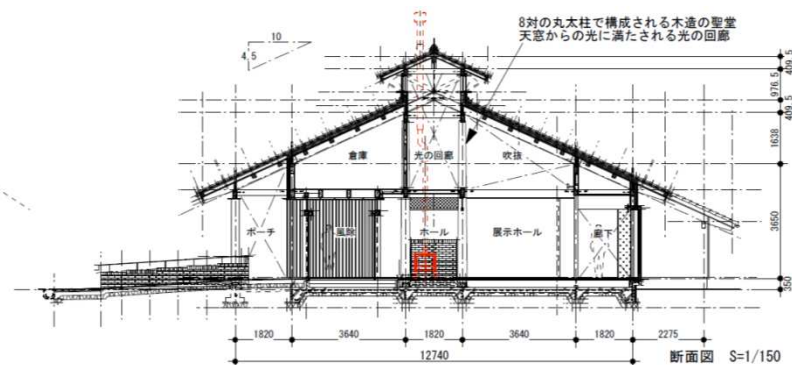
博物館

2階建

482.78㎡



建築主 一般社団法人 満蒙開拓平和記念館 設計者 新井建築工房 + 設計同人NEXT 施工者 吉川建設株式会社



先の大戦中、中国東北部であった悲しい歴史を風化させること無く、次世代に語り継いでいく全国唯一の満蒙開拓に特化した記念館。

賛同者の貴重な浄財でつくる記念館は、出来るだけ質素に、出来るだけ力強くメッセージを伝える館として計画した。外観は大陸の建築のプロポーションと伊那谷の養蚕農家を感じられる形。特に大陸の建築に必ずある煉瓦の煙突とポプラ並木は記念館のシンボル。

天に向かって林立する8対の地元の杉丸太で組みあげた架構に越屋根からの柔らかい光が差し込みます。左右の登り梁が出会う部分を合掌と言います。光の中でまさしく木の命の永遠に想いを託して手を合わせる。この光の回廊を象徴とする館は、平和を祈る木造打放しの聖堂として記憶に残る空間づくりを目指した。

この館は、近代史の一つの事実をきちんと学ぶ事に加え、悲しい歴史を平和への希望の力に替えていく一人一人の意識改革も迫っている。個人として間違いの無い将来をきちんと判断できる能力を高めなさいと満蒙開拓平和記念館はこれからも語って行く

優秀賞

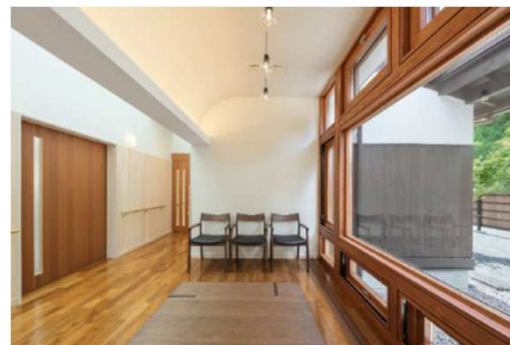
医療法人 奥原医院

木曽郡木祖村

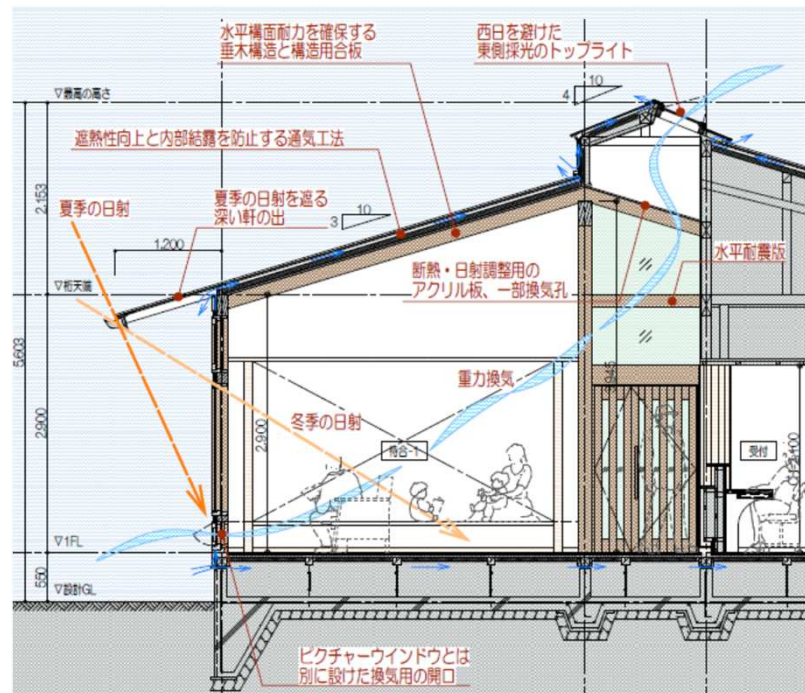
診療所

平屋建

340.25㎡



建築主 医療法人 奥原医院 設計者 株式会社アーキディアック 施工者 木曽土建工業株式会社



長野トヨタ チューカーボックス佐久店

佐久市



MON marushime (モンマルシメ)

飯綱町



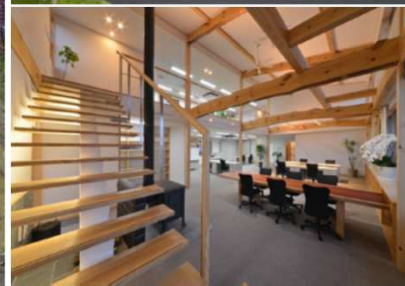
パノラマオフィス伊那

伊那市



寺島工務店新社屋

長野市



GalleryCafeならの木

御代田町



りんご並木のエコハウス

飯田市



(信州まし野ワイン(株) ピオニエ蒸溜、醸造所 松川町



麻釜温泉公園「ふるさとの湯」

野沢温泉村



熊の手洗湯

野沢温泉村



日々是好日(ヒビコレコウジツ)

松本市



エム・グループ本社ビル

長野市



定津院 会館・坐禅堂

東御市



徳満寺 本堂・門徒会館・庫裏

飯綱町



穂高神社 神楽殿

安曇野市



頼岳寺 禅堂

茅野市



善光寺山門東公衆トイレ

長野市



姨捨の棚田 OASIS (オアシス)

千曲市



白馬ハイランドホテル 浴室棟

白馬村



豊丘地域公民館

須坂市



栄村歴史文化館 栄村公民館「こらっせ」

栄村

